

1. 指定管理者	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 市之倉公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 市之倉公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) 大ホール:44.6%(平均値比 108% = 44.6% ÷ 41.3%) 研修室:31.6%(平均値比 120% = 31.6% ÷ 26.4%) 和室:16.5%(平均値比 142% = 16.5% ÷ 11.6%) 料理実習室:6.6%(平均値比 67% = 6.6% ÷ 9.9%) 陶芸室:6.2%(平均値比 85% = 6.2% ÷ 7.3%) 資料室:39.3%(平均値比 109% = 39.3% ÷ 36.2%)	5点		
					平均値比(109%)=利用率(24.1%)÷22.1%(上記②適用)						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) 大ホール:14,804人(平均値比 127% = 14,804人 ÷ 11,698人) 研修室:5,361人(平均値比 155% = 5,361人 ÷ 3,464人) 和室:1,536人(平均値比 147% = 1,536人 ÷ 1,048人) 料理実習室:506人(平均値比 223% = 506人 ÷ 227人) 陶芸室:282人(平均値比 96% = 282人 ÷ 293人) 資料室:3,892人(平均値比 123% = 3,892人 ÷ 3,159人) 図書貸出:1,417人(平均値比 96% = 1,417人 ÷ 1,482人)	5点		
					平均値比(130%)=利用人数(延べ27,798人)÷21,371人(上記②適用)						
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)			15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P187～193 ①公民館まつり「公民館文化祭」/展示部門(380人)、ステージ部門(300人) ②地域意識醸成事業 (1)地域介護予防事業/ひだまり健康大学(10回317人)、元氣アップひろば(24回526人) (2)地域力向上事業/防災フェスティバル(70人)、南ヶ丘中吹奏楽部コンサート(94人)、ウォーキング大会(116人)、誰ひとり取り残さない防災(62人)、福祉講演会(81人)、Xmasひろば(68人)、手話サロン(7人)、手づくり郷土賞受賞報告会(50人) (3)親育ち4・3・6・3協賛事業/なかよしひろば(3回56人)、新春書初め大会(32人) (4)活性化委員の会事業/夏まつり(1,500人)、イルミネーション(1,500人)、Xmasコンサート(76人)、絵本の福袋(50人)、夢ふうせん(350人) (5)近隣公民館連携事業/囲碁・将棋交流会(29人)、卓球交流会(2回60人)	仕様書以上 13点	①文化祭の参加団体が昨年度から増加。加えてリサイクル本フェアや手づくりパンなどのバザーも後押しし、活気の回復に努めた。 ②2つの防災事業は、当地が1町1区のみとまりがあり、山に囲まれ川が流れる地域として防災意識が高さがうかがえる。地域の自発的な取組みを支援するために公民館が受け皿となり、益々地域の防災意識を高めていけるよう努めている。 ③SDGsの視点を意識し、なかよしひろば(おさがり交換会、おもちゃ病院など)を企画。日ごろの公民館の活動からも、SDGsを発信されたい。	13点	
							15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P194～201 ①子ども対象事業 (1)子ども講座/砂防ジュニアマイスター養成講座、フォトフレームを作ろう、プロが教える和太鼓、ケーキずし弁当、卓球ひろば、ボードゲーム(6講座125人) ②成人対象事業 (1)料理講座/男の中華料理、秋の美味和食、クリスマスチキン、白菜キムチ(4講座43人) (2)健康づくり講座/スポーツ吹矢、卓球くらぶ、日曜卓球部、認知症予防講座、市民のための健康講座(5講座262人) (3)合唱講座/なつかしの歌のつどい、歌唱力UP講座(2講座1,293人) (4)その他/ボールペン画、苔玉アート、中国語、LINE講座、正月花飾り、新春アレンジ花(6講座131人) ③ハワイアンフェスティバル(245人)、④サークル体験ひろば(190人)、⑤ギャラリー愛(12展示3,040人)、⑥マナビバ(6講座340人)	期待以上 13点	①定期利用のフラダンスサークル10団体を取りまとめて開催したハワイアンフェスティバルは、市之倉公民館の特徴を活かした新規事業として評価。 ②「砂防ジュニアマイスター養成講座」では、次世代に向けた防災意識の啓発に取り組まれているほか、小学生の時に参加した子どもが中学生ボランティアとして参加するなど、防災意識の継承にもつながっている。 ③男性向けの料理講座や高齢者向けのLINE講座は時代のニーズとも言え、趣味ややりがいを見出すきっかけづくりに寄与している。 ④講座終了後に4サークル(ボールペン画、スマホ、吹矢、中国語)が発足。VIVAマナビバ講座後も3サークルが発足し、受講者の声に応じて講師とつなげるなどサークル化に取り組まれた。
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P202 ①施設内清掃と消毒を実施(毎日) ②屋外トイレの清掃(毎日)と業者による内壁、外壁の洗浄 ③職員と活性化委員による第2駐車場の草刈り	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点			
		②保守・点検			年次報告書P202 ①消防設備保守点検は法定点検として年2回実施 ②その他事業計画に基づき、各種月例点検、年次点検等を遺漏なく実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
		③保安・警備			年次報告書P202 ①機械警備業務を委託して実施(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
		④小規模修繕			年次報告書P203 ①有償修理 全12件 総額646,165円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P203 ①通行の妨げとなる道路側花壇の整備 ②公民館入口の傾いた石の門柱を撤去(市の負担による) ③トイレ壁のタイル浮きを応急修繕	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P204 ①市ファイリングシステムに準じて、適切な文書管理と情報の共有を実地。 ②フォルダー内は重複文書がないようにチェック。必要最小限の保管に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P204 ①電気代高騰の中、利用者の来館があるまではロビー照明を消灯し節電。 ②踊り場照明のLED化。 ③県のキノコバエの薬剤試験調査に協力しトラップ調査器を設置。衛生環境の改善に協力 など	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P205 ①トイレ近くの大型書架を2階に移設。車いす利用者のスムーズな動線を確保。 ②車いすを軽量タイプに買替え。 ③大活字本を積極的に購入。視力の弱い方や高齢者が読みやすい図書を充実。 ④2階への荷物の上げ下ろしが困難な利用者には、職員が速やかに声をかけサポート。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 特にホール以外の機能がすべて2階にあるため、利用者への配慮に努めている。	
			④備品管理			年次報告書P205 ①破損や汚損に伴う備品の適正な更新(ホワイトボード、展示用パネル)。 ②備品の異動の度に台帳をチェックするとともに、写真や購入日、保管場所の情報を加えた独自の備品台帳を再作成。 ③ミキシングアンプを正しく使用するための職員研修を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P205 ①広報媒体に利用者の顔写真を掲載する場合は、必ず本人の許諾を得ている。 ②子どもの写真掲載の可否は、講座申込書に確認欄を設け、保護者に聞き取り。 ③定期利用団体や講師への問合せは、対応をご本人にその都度確認して処理。 ④個人情報が記載された書類を処分する際は、シュレッダーで細断処理。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入21,708,684円÷支出21,506,956円＝101%	105%未満～100% 4点	【参考】令和元年度99%、2年度93%、3年度101%	4点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P207 ①利用者の視点に立ったサービスができるよう意見箱でニーズを集約。 ②ホームページでの公民館のお知らせをPDFで掲載することで、駐車場の混雑予想をスマホで確認できるよう整備。 ③カラーコピーサービスの要望に応え、カラー複合機を導入。 ④利用団体の要望に応え、和室に座椅子やイ草上敷、ホワイトボードを設置し、利用環境を改善。 ⑤講座終了後の受講者の継続意欲に応え、講師との仲介役となりサークル化に寄与。 など	期待以上 9点	①駐車場不足は定期利用者も概ね理解いただいているため、公民館としてできる限りの情報提供で混雑の解消に努めている。 ②利用者の要望に応じて使いやすい環境づくりに取り組んでいる。利用頻度や費用対効果も考慮しつつ環境整備に取り組まれたい。 ③講座後のサークル化に奔走し、7サークルが実を結んでいる実績を評価。	9点
		②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし	5点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点	極めて良好